

キャリア教育の取り組み

1. ねらい

- 今やっていることが将来どうつながるのか？将来との関連・関係を知るとともに、自分の将来についての夢やあこがれを持ち、「学ぶ」意義を認識させる。
- 自分自身や仲間との良好な関係や集団への積極的な関わりを創り出すために必要な能力を育成する。

2. 1年生では

- ①目的を持って学ぶ ……なぜ、今学ぶのか？
- ②働くことについて知る ……働く人の考えを知る、身近な人に「仕事」インタビュー
- ③集団の中で自分を生かす……ソーシャルスキルトレーニング
- ④将来の生き方と進路計画……生き方いろいろ、十人十色。生き方について考えよう
あこがれの生き方は？

4. 計画

- (1) 10月27日(木) JAXA 講演会
- (2) 11月18日(金) 総合・12月9日(金) 総合 ソーシャルスキルトレーニング
- (3) 11月25日(金) 出前授業「パナソニック 松吉 徹也 様」
- (4) 冬休み課題「職業調べ」冬休み明け、クラスで発表
- (5) 2月9日(木) キャリア教育支援プログラム
ゲーム制作と数学の意外な関係 (外部講師)

<関連学習>11月8日~17日 道徳の時間 「敗北から学ぶ~122対0~」(7回コールド)

1998年7月18日の青森県大会で記録され、翌日の日刊スポーツの一面も飾った歴史的な試合が題材。挫折した時(しそうなった時)にどう判断するのか？最後までやり通すのか？諦めるのか？そしてこの悔しさを乗り越えるためにはどうすればよいのか？を考える授業。



<ソーシャルスキルトレーニング>

11月18日(金) ⑥総合

「ちょっと大人の断り方」についての学習。

<授業の感想>

- ・意外と難しかった。だけど、役に立つ話ばかりだったので、次も頑張ろうと思いました。
- ・断り方はやっぱり大切だなあと感じました。私は攻撃的だったり、非主張的だったり人によってやっぱり違うなあと感じました。これからは、主張的な言い方でやっていきたいと思っています。

- ・はっきり言われると『そうなんだなあ』という感じがすごくした。だから、納得できる。



- ・ソーシャルスキルを学習して、断り方で相手の気持ちを変えてしまうんだな、と思いました。相手に嫌な思いをさせないように『ちょっと大人の断り方』をこれからしていこうと思います。
- ・僕は「ごめん」とか言えていたけれど、代案はなかなかたてていなかった。この断り方を知って相手を怒らせずに断れそうです。



*先生と生徒、または、先生同士の迫真の演技……写真では伝わりにくいのが残念です。

<出前授業>11月25日(金)⑤⑥校時

講演「プロフェッショナルとは ～今中学生で何をすべきか～」

<生徒の感想>



・勉強って面倒だなあとか、他のことでもラクをしたいなと思ったことがたくさんあったけど、逃げずに一生懸命頑張ればその前には分からない特別な喜びを得ることができることを知った。たくさんの人に支えられて今があることを忘れず毎日を過ごしていきたい。

・チャレンジすることが大切だと分かりました。プロは、簡単にはなれない。誇りを持てるように、「今から」が大切なのだと分かりました。意味がないと思っ

ていることもちゃんと意味があってしているのだとよく分かりました。何事にもあきらめず、ラクな方へ逃げないようにしたいです。人から信頼を持ってもらえるよう一生懸命やり遂げたい。

・たとえどんなに成功した人でも、それまでに様々な苦労があったことが分かった。その中でも様々な失敗を繰り返す、今の姿があることも分かった。たとえ、失敗しようと思わずに進んでいくことが人生の成功にもつながっていくと思う。



・僕は、この講演会でだれでもプロになれることが分かりました。僕は自分はダメだと思っていたけど、今日の話聞いてこれから頑張ろうと思いました。しかも、自分は嫌なことからいつも逃げていました。これからは諦めずに、頑張ります。

・今から将来に向けて何をすればいいのかなんて考えるのは、まだ早いと思っていました。でも、この講演会で、今からやっておくべき事はたくさんあることに気がきました。今まで以上に勉強したい。プロの四条件の中で私は特に結果を出すことができないと思ったので頑張ります。(今は勉強で結果を出したいです。)

キャリア教育の取り組み（その2）



<冬休み課題>「職業インタビュー」事前学習① ～インタビューする側を体験してみよう～

12月8日（木）⑥校時学活

「インタビューのいろは」のプリントを使って学習した後、担任に職業インタビューを行う。一人一回。一问一答にらず、しゃべった内容をさらに深めたり広げたりする質問をするのがねらい。

<授業の感想>

- ・インタビューしたことあるけど、こんなしっかりとインタビューをしたのは初めてです。
- ・インタビューは思ったよりも難しかった。内容が広がっていくようにするのが大切だけど、話がそれないようにすることが大切だということが分かった。
- ・質問を考えるのが、思ったより難しかった。インタビューのコツが分かった。
- ・先生はいろんな苦勞を背負って生きていることが分かった。仕事を持つまでは大変だけど、持ってからもつらいことや悩み事が出てきたりして大変なんだなと思った。
- ・先生だからこそある思いやうれしさ、つらいことがあるんだと分かった。4年も月日をかけてやっと先生になれるんだなあ。生徒に教える事以外にもたくさん仕事があるんだと思った。



<ソーシャルスキルトレーニング>

「ちょっと大人の頼み方」

12月9日（金）⑥校時総合

前回の「ちょっと大人の断り方」の続編。前回の学習内容と関連づけながら、頼み方の4つのポイントを知り、演習課題を練習した。

<授業の感想>

- ・断るときに、いつもなら「無理」とか言っていたので、勉強になりました。実際使うときが来たら、試してみようと思います。
- ・あまり攻撃的でもなく、おどおどせずに主張的になるのが一番いいと分かった。これからは大人の頼み方を活用していきたい。
- ・相手を怒らせない大人の頼み方はとてもいいと思った。お互いが納得していくことが一番重要なんだと思った。
- ・友達に頼んだり、上手に断るとき相手の気持ちを考えて相手が嫌な気持ちにならないようにしたいです。でも、自分の言いたいことがはっきりさわやかに言えるようにしたいなと思いました。
- ・頼み方で相手をイヤな気持ちにさせてしまうときもある。だから、自分は大人の頼み方をしたいなって思った。

＜冬休み課題＞「職業インタビュー」事前学習②

～インタビューする側・される側を体験してみよう～

12月12日～16日 道徳の時間

前時で行ったインタビューのスキルアップがねらい。二人一組。「有名人の朝食！」と題して2分間のインタビュー。その後、それをもとに200字～300字程度の記事にし、発表する。

＜授業の感想＞

- ・本物の取材をしているみたいで楽しかった。たくさんのことを聞くことができたので、記事にするのは楽だった。
- ・インタビューをしました。2分間しゃべり続けることが難しかったです。でも、いろいろ聞けてよかったです。
- ・インタビューのやり方が分かりました。話題をふくらませていくのが難しかったです。
- ・インタビューをすることも、答えるのもとても大変だと思いました。

冬休みの総合の課題「職業インタビュー」も、これで安心。家族はもちろん、親戚のおじちゃん・おばちゃん、ご近所、行きつけのお店の方など……職業インタビューしてみよう。

キャリア教育の取り組み（その3）

冬休み課題「職業インタビュー」の発表

①班での発表 1月13日（金）⑥校時総合

「職業インタビュー」のレポート用紙を見ながら、ワークシートにそって発表原稿を作成する。各自で何回か練習をした後、班内で順番に発表する。それぞれの発表を聞いて、他の職業についての理解を深めるとともに、各人のまとめ方・発表の仕方の違いや工夫を見つけ次への参考にする。さらに、次時のクラス発表に向け、班代表を決める。

②クラス発表

1月20日（金）⑥校時総合

班の代表の生徒が、前回の原稿をより詳しく分かりやすくなるよう手直しをして、全員の前で発表をする。まずは、担任から発表の仕方・聞き方を再度確認。そして、班代表の生徒が順番に。

発表を聞きながらメモを取ったり、発表する生徒を見ながら頷いたり……。どのクラスも、いい雰囲気の中クラス発表が行われていた。



<授業の感想>

・大変なことやつらいことがあってもあきらめずに次に進む事が大切だと思った。同じ会社で働く人はたくさんいるので協力することがみんなとうまくできる一歩だと思う。私も夢を目指して頑張りたいと思った。

・ちゃんと練習してきているのが分かった。いろいろな職業があって、内容がよく分かって聞こえやすかった。どの職業も、何かと苦労しないと成れないことをみんなの発表を聞いて感じました。自分の将来のためにもしっかり聞いて調べておいた方がいいなあと思いました。

・みんな全然違う感じの仕事だけど、どれも大変そうだけど、とてもすごい仕事をしていることが分かった。働くということは肉体的にも精神的にもとても大変な事だと思った。また、働いている大人の方々は、とてもすごいと思った。



キャリア教育の取り組み（その4）



<出前授業>2月9日(木)10日(金)

「ゲームと数学の意外な関係」 各クラス1時間ずつ

身近なゲームに、実は今習っている数学が利用されている、という、目からウロコの授業に、問題用紙に真剣に取り組む生徒達。50分があつという間に過ぎていく。授業の最後に、ソニー・コンピュータエンタテインメントの広瀬さんから生徒達にメッセージ……。

- ①学校でやっていること（勉強・経験・体験）が大人になったときに力になる。毎日の積み重ねが大切である。
- ②15年前、一人の技術者が「世界中の人があつと驚くようなゲーム機を作ろう」と思って始めた。周りの誰もが無理と考えた。簡単にあきらめない。自分を信じる。突き進む。壁にぶつかると悔しい思いもしつつ……。やり遂げたときの達成感は何とも言えない。ゲームのことだけど真面目にやっている。



<生徒の感想>

- ・ゲームができることにはたくさんの苦労があるんだなと思った。今やっている勉強は将来にとっても役に立つことが分かった。今やっている勉強やこれから先にやる勉強も頑張って将来に生かしていきたいです。
- ・ゲームを作ることにも数学が関係していると気付いた。普段何も考えずに遊んでいるゲームだけど、たくさんの人や時間を使っていたんだなあ。まさか、比例や反比例が使われているとは思っていなかったのだから、初めて分かって驚きました。数学だけじゃなくいろいろな勉強が将来役に立つんだな。
- ・今日は「フリフリサルゲッチュ」のゲームを使っているいろんなことを教えてもらいました。一番驚いたのが、数学がかかっていることです。数学の「比例」「反比例」など、いろいろな事がかかっていることが分かって社会に出て数学がとても大切な事だということが分かりました。今日は大変お世話になりました。
- ・とても楽しい授業でした。今習っているあの面倒な数式の数々は、こういう場面で生かされている事を知り、数学にもっと関心を持てるようになりました。将来、授業をしに来てくれた人達のように、自分と仕事に誇りを持って、楽しんでできる人になれば一番いいかなって、思いました。



<夢名刺をつくろう>

2月10日(金) ⑥校時総合

「夢を大切に 夢につながる道も大切に」をテーマに10年後の自分をイメージし、名刺を作る。名刺の裏には「その夢を実現するためにがんばること」「その夢の実現のために周りの人に応援してもらいたいこと」を記入する。完成した名刺を持って、周りの人と名刺交換し、お互いの夢を語る。また、ワークシートを使って、7年後・4年後・2年後・半年後の自分の姿と目標を考え、今が将来とつながっていることを実感する。



<生徒の感想>

- ・自分の名刺を書いて、夢を現実にさせてみようと思った。友達の発表も聞いて良かった。
- ・自分の夢名刺を考えて書いて、もし将来就職に迷ったら今回書いた夢名刺を思い出して頑張れるから、とてもいい授業だったと思う。
- ・みんなすごい夢を持っているなあと思った。かなわなくてもいいから「前に向かって一歩前進するんだ!」というのが伝わってきた。
- ・改めて進路を考えることで、自分がすべきことや将来についてより明確になったと思いました。「がんばれ」ってお互い声かけ合ったら、やる気が出た。
- ・今日の授業で自分の夢について初めて語った。もし、将来なれていなくても、前を向いて歩いていこうと先生の話聞いて思った。

<宇宙飛行士候補者試験に挑戦しよう>

2月16日(木)～24日(金) 学活・総合



身近でない「宇宙飛行士」という職業を取り上げ、「宇宙飛行士になるには？」という力が必要とされるのか、応募条件・選抜試験を通して考える。また、実際に出題された課題を体験してみる。さらに、2月4日に放送された「2012年宇宙の旅～僕らは本気で月を目指す！～」を視聴。(宇宙飛行士の星出さんや宇宙技術の最先端で頑張る人々を取材。宇宙への夢を語る内容)



<生徒の感想>

- ・ 案外難しかった。ISS（宇宙ステーション）は無休かと思ったら2日も休みがあるのにビックリ。自分はまだまだ宇宙飛行士には遠いなと思った。図形の問題は出す人も出される人も大変だと思いました。
- ・ 試験はいろいろな問題があっっておもしろいと思った。図形の問題は出す人は正確な説明力と情報整理力、聞いて書く人は理解力とストレス耐性を確かめられている感じがした。
- ・ ちょっと難しかったけど完成したときの喜びやうれしさはすごく大きかったです。星出さんは4才の頃から「宇宙飛行士になる」夢を持っていてすごいなと思いました。僕も行けたら、まん丸の地球を見てみたいです。